

社会教育クローズアップ

市町村立図書館(図書室)、学校図書館を訪問しました

昨年11月から12月にかけて、社会教育主事巡回訪問を実施し、市町村立図書館(図書室)担当者や、学校司書、学校図書館担当者と学校における読書環境の整備について協議を行いました。

学校図書館充実に向けたポイント

学校図書館の充実に向けた、学校司書の取組、市町村立図書館(図書室)との連携、外部団体による支援など、市町村の取組を紹介します。

① 学校司書の取組

上士幌町では、学校司書と教諭が連携して授業の準備を行っています。中学校の社会科でSDGsの学習を行う際、学校司書が選択した、学習課題に適した図書を活用することで、生徒の考えを深める授業につながっています。

また、大樹町においても、学校司書が各学年の年間指導計画を把握し、授業で利用できる図書の提案を行っています。

音更町では、学校図書館に必要な蔵書がない場合、学校司書が音更町図書館と連携して、授業に必要な資料を準備しています。中学校の家庭科で保育を学ぶ際、乳幼児への読み聞かせの練習に必要な絵本を、音更町図書館から借用し、授業で活用しています。



SDGsに関する
図書コーナー
(上士幌町立上士幌中学校)

② 市町村立図書館(図書室)と学校の連携

幕別町では、幕別町図書館司書が「学校図書館運営の手引き」を町内の学校ごとに作成し、学校図書館担当者と情報共有することで、学校図書館運営のサポートを行っています。



学校図書館運営の手引き
(幕別町図書館)

③ 外部団体による支援

中札内村では、北海道読書応援団の「中札内村図書館ボランティア」及び「まざあぐらす」が、児童への読み聞かせを行っています。

また、「中札内小学校図書館ボランティア」は、学校図書館図書の入替え作業の補助をしています。ボランティアの構成員には保護者がいるため、毎年入れ替わりがあり、学校図書館を支援するための持続可能な体制づくりができています。

帯広市では、卒業生や保護者により構成される「啓西小読書ボランティア」が、「先生のおすすめ図書コーナー」を設置し、児童が読書に親しむきっかけづくりをしています。



おすすめ図書コーナー
(帯広市立啓西小学校)

児童生徒の読書環境の充実は、児童生徒が多様な本に触れ合うことにより、読書習慣を身に付けることにとどまらず、興味・関心を広げ、自主的に学ぼうとする意欲を育み、学習習慣の育成につながるなどの効果が期待されます。

また、多様な本に触れ合い、「図書館に行ってみよう」と児童生徒が感じることができるよう、授業や家庭学習において計画的・継続的に図書館の本を活用するなど、図書館のことを児童生徒や保護者に周知していくことが重要です。

【発行・お問合せ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班(田尾・皆川)
住所: 〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話: (0155) 26-9243(直通) 平日 8:45~17:30
E-mail: minagawa.keita@pref.hokkaido.lg.jp